

(6) まよめの検討紙

1班

中部地域		項目	趣旨、鍵となる言葉、など
地域の主な課題(問題)			・農地の維持が困難 (仮設着の問題) ・住環境の改善 (同質化しない) (活用にする) ・地域間の交通ネットワークの不足 ・商店など日常必要な施設の不足
地域の目標	キャッチフレーズ (鍵となる言葉)	『市民間交流』『生活の利便性』『田園』『富士山の眺望』 『渋田川・鈴川・金目川(三川)』『富士山の眺望』	『平塚の尾瀬の原』 『農業の活性化』
	その説明	→ 水質改善(田舎)	キャッチフレーズ やりやすく ・中核のふし ・火山と富士山
地域の方針	道路・交通	・交通安全施設の設置や改善 ・生活道路の改善 ・コミュニティバスなど地域の足の確保	・右折レーンの設置 ・渋滞対策(車輪同列)大規模
	住まい環境	・身近な商店の維持や魅力化 ・防犯対策などのために、環境整備やコミュニティ活動の充実	・粗密・小住宅の下方
ほか	景観、公園・みどり	・川への親水性の充実と、川の魅力化 ・みどり環境としての田園の維持	・護岸の親水管理(草刈り、川底の清掃等) ・住宅の低層維持(15m→12m) ・水質改善(渋田川、新川)下水処理
	ほか	・農地を守るための地域や学校などの協力 ・イベントやまちづくり活動の地区間の連携	・農地を守るための地域や学校などの協力 ・イベントやまちづくり活動の地区間の連携
地域における主な取組み (右の記載は例です)		<ul style="list-style-type: none"> ・(地域全体) 田園の維持 ・(豊田地区) 『私たちの公園』をつくる ・(城島地区) 地域生活の拠点づくり ・(岡崎地区) 三川合流のビオトープ ・(金田地区) コミュニティバスの運行・運営 	

中部地域調整区域
が中心に課題を
解決し、
・活性化

富士山の眺望と
豊かな水と緑
の環境が形成
されていく

富士山の
見守り地域に
するための低層の
維持

下道が12mの
コンクリート化
された排水の
流入
→ 水環境の悪化
を招く

管理が自然化
を促す

河川の護岸の
コンクリート化
が減少した
→ 管理が自然化
を促す

西瀬管内の
若狭の人間
10年前15分→
現在 90分→

やまがたの
↓
コビトに神田川

富士山
の眺望と
豊かな水と
緑の環境が
形成されて
いく

音楽の活用
・小中学校
・ビオトープ

バス

富士の眺めと
豊かな水と緑
の環境が形成
されていく

キャッチ
フレーズ

1班

2班

中部地域		項目	趣旨、鍵となる言葉、など
地域の主な課題(問題)			・農地の維持が困難 ① 地域間の交通ネットワークの不足 ・商店など日常必要な施設の不足
地域の目標	キャッチフレーズ (鍵となる言葉)	『市民間交流』『生活の利便性』『田園』『富士山の眺望』 『渋田川・鈴川・金目川(三川)』『富士山の眺望』	『平塚の尾瀬の原』 『農業の活性化』
	その説明	・緑豊かな田園環境と住みやすい居住環境が形成される	キャッチフレーズ やりやすく ・中核のふし ・火山と富士山
地域の方針	道路・交通	・交通安全施設の設置や改善 ・生活道路の改善 ・コミュニティバスなど地域の足の確保	・右折レーンの設置 ・渋滞対策(車輪同列)大規模
	住まい環境	・身近な商店の維持や魅力化 ・防犯対策などのために、環境整備やコミュニティ活動の充実	・粗密・小住宅の下方
ほか	景観、公園・みどり	・川への親水性の充実と、川の魅力化 ・みどり環境としての田園の維持	・護岸の親水管理(草刈り、川底の清掃等) ・住宅の低層維持(15m→12m) ・水質改善(渋田川、新川)下水処理
	ほか	・農地を守るための地域や学校などの協力 ・イベントやまちづくり活動の地区間の連携	・農地を守るための地域や学校などの協力 ・イベントやまちづくり活動の地区間の連携
地域における主な取組み (右の記載は例です)		<ul style="list-style-type: none"> ・(地域全体) 田園の維持 ・(豊田地区) 『私たちの公園』をつくる ・(城島地区) 地域生活の拠点づくり ・(岡崎地区) 三川合流のビオトープ ・(金田地区) コミュニティバスの運行・運営 	

中部地域調整区域
が中心に課題を
解決し、
・活性化

富士山の眺望と
豊かな水と緑
の環境が形成
されていく

富士山の
見守り地域に
するための低層の
維持

下道が12mの
コンクリート化
された排水の
流入
→ 水環境の悪化
を招く

管理が自然化
を促す

河川の護岸の
コンクリート化
が減少した
→ 管理が自然化
を促す

西瀬管内の
若狭の人間
10年前15分→
現在 90分→

やまがたの
↓
コビトに神田川

富士山
の眺望と
豊かな水と
緑の環境が
形成されて
いく

音楽の活用
・小中学校
・ビオトープ

バス

富士の眺めと
豊かな水と緑
の環境が形成
されていく

キャッチ
フレーズ

街灯
防犯(交通安全)

大きなフランク
が必要

駅側のより安全な道路環境

買い回りの利便性
が上がる環境
(道路や交通)

バス交通と商店
が近接している
(人が集まる所
地域に密着)

2班

(7) 参加した皆さん／第3回懇談会時



6. 西部地域

(1) 分野別の意見

区分	意見
道路・交通	<p>【道路一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吾妻橋の付け替えを（周辺の混雑の解消）／吾妻橋とインター入口の間に橋ができないか ・幹道 18 号・金目神戸線の整備促進を ・県道 63 号・相模原大磯線は歩道必要 ・県道 77 号・平塚松田線の拡幅と歩道の設置 ・幹道 15 号・吉沢土屋線は、大型車の通行が増えている／歩道が狭い／通学路で歩道が必要／自転車通学が危険／朝夕の渋滞がひどい／中沢橋交差点の朝の渋滞／中沢橋交差点の右折レーン設置を（現在整備中）／中沢橋以西の整備を早急に／拡幅を望むが、ガードレールなど早急に歩行者・自転車対策が必要 ・都市計画道路の整備が進んでいない／吉沢地区の道路整備の遅れ／八幡神社土屋線の整備を ・基盤となる東西の道路が必要／新幹線新駅へのアクセス確保（東西方向） ・湘南丘陵幹線道路の早期整備を／企業所有地に協力してもらえれば早くできるのでは ・湘南丘陵幹線の整備により通過交通と生活交通を分ける ・生活道路の拡幅、特に土屋・寺分地域 ・地域内は信号が少ないので通過交通が入る ・金目川の橋を増やすべき／吾妻橋周辺の混雑解消 ・小田原厚木道路のインターチェンジを増やし渋滞解消を ・県道 77 号・平塚松田線と幹道 15 号・吉沢土屋線の変則 T 字交差点の早期改良（整備中） ・広川地区の交通量が増えて交差点で事故 <p>【歩道整備・改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確保／めぐみが丘は学校まで遠い／安全に通学できる通学路の整備が必要 ・寺分地区の小学校通学路に歩道がない <p>【公共交通、自転車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体でみても東西方向のバス路線がない／増便やコミュニティバスの導入 <p>【そのほか交通施設など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業総合研究所のバス停は身障者の利用が多く、乗降に時間がかかって渋滞の原因になっている。バスベイや停車帯などの設置を／バス停の整備など利用環境の充実を
住まい環境	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化・若者の定着／市街化調整区域で次世代が家を建てて暮らすことができない／沿道だけでも用途を変更できないか／大学周辺を市街化区域に変更し先生など定住／住宅開発による人口増加の誘導 ・自然的利用（農地の活用）を考えた基盤整備を進めて欲しい（道路やインフラも）／休耕地は放っておくと荒れてしまい、地域の荒廃を招く／生産緑地として市民や来街者に貸し出してはどうか ・ゆるぎの開発の促進／吉沢地区は市街地に隣接しており、西部地域の玄関口であるため、ゆるぎの早期開発／広大な企業所有地における土地利用計画の条例化、企業との協議 ・遠藤原最終処分場の跡地利用計画を地元と協議を進めるべき ・五領ヶ台高校跡地はどうするか <p>【地域生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落地を増やしたい／雇用機会を創出し、新しい世帯・世代を担う ・土沢中学校の入学者が 4 名で存亡の危機 <p>【住まい環境】</p> <p>【公共・公益施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・託児所、ケア施設、福祉施設が少ない ・吉沢公民館は老朽化し耐震性がない／めぐみが丘の住民が増えているのに使いづらい ・みずほに公民館を望む／図書館の併設 ・吉沢公民館の利用者数は年々増加しているので早期建て替えを ・地域活動の拠点、若い人が集う公民館などの地域ふれあいの場の新設・整備・改善（自然と交流しあえる「核」づくりと、みずほ地区の公民館・めぐみが丘の自治会館の整備改善）

区分	意見
景観、 公園・みどり	<p>【景観】</p> <p>【みどりと水辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地域は、これだけの緑があるのに、魅力的空間がない ・緑の管理が行き届いていない／50年位手入れしていないところもある ・里山の整備／トイレ・休憩所がない／散策路（ハイキングコース）で崩壊箇所あり／ハイキングコースや里山が荒れている／管理方法の検討を ・かんまん川の再生（清流化）／不動川の清流化（ホタルの住むところに） ・里山の自然を残しながら、遊歩道などの整備を（来訪者が増えている）／散策路の整備 <p>【公園、広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設の公園にも多目的トイレの整備を ・農協跡地は広場が整備された
その他	<p>【産業、レクリエーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の後継者の問題／高齢化や担い手が不足のため遊休農地が増えている／手入れが必要 ・高齢化と若者減少で畑などの管理が行き届かず、景観が悪くなった／農業存続の為に農業法人の起業を／農家同士が集まって株式会社 ・人が集まる施設（長期滞在型キャンプ場、自然とふれあえる公園・テーマパークなど） ・大学の研究成果を反映した大規模な農業体験場など ・自然観察館のようなコア施設がほしい（エコミュージアム）／自然観察園の計画を ・自然を残しながら若い人を集める開発の進め方を考える（若い人が若い人を呼び寄せる） ・ゆるぎの竹林は再生し、たけのこの里に／竹炭の活用／ピワ地域竹林も併せて実施 ・道の駅のような農産品の直売所などがあるとよい ・配水池は一部を利用してパークゴルフ場などに活用しては <p>【自然環境、環境との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部丘陵の豊かな自然環境を次世代に引き継ぎたい／吉沢、土屋のみどりは平塚の誇り／貴重な財産／貴重な里山はバランスのとれた自然やみどりの保全を／保全地区の指定 ・里山が崩壊している箇所がある／自然を残すには人の手を加える必要がある（整備も必要） ・管理を含めた良好な開発計画を／西部丘陵の開発計画は止めて欲しい／開発はしない様に ・ボランティアなど里山の保全の担い手が十分でない／市民活動が少ない／維持管理・保全のための組織づくりを／多世代交流組織で／学生やめぐみが丘などの新しい人々と連携し、行政も含めて進める／NPO、ボランティア団体の設立と参加者の増加、地域全体での取り組み <p>【安心安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めぐみが丘は昼間でも薄暗く、人通りも少ないので不安（子供がさらわれそうになった） ・街灯不足／防犯上問題だ／街灯で安心安全を／150世帯ある大田自治会地区に街灯が少ない／道幅が狭く角が多く不安／街灯設置の補助を ・市道15号線沿いの暗がり／不審な出来事 ・めぐみが丘周辺のゴミの不法投棄／ゴミの不法投棄が上吉沢地区の市道15号線沿いに所々 ・座禅川、不動川などの河川の護岸整備と活用（遊歩道・通学路等） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や研究所と地域住民との交流が少ない／講座やフォーラムなどに参加してみたい／交流のしくみづくりを／環境や里山保全での大学との連携を ・少子化対策として人が住みたくなるような魅力的な対策／今住んでいる人が住み続け、次世代が住み続けたいと思う地域づくり ・企業・公共・大学のスポーツ施設の活用 ・山林・農地を維持管理していくには今まで通りでは難しい／将来を考えると市街地に住んでいる若い人を呼んで、様々な形で吉沢住民を増やしていく必要 ・イノシシなど野獣の被害も出ている。地域全体で取り組むべき ・ゆるぎの開発／文化的施設の総合的集合地区として公園や図書館、総合運動場、ショッピングセンターなどを設置し、1日過ごせる施設とする、ほか ・文化的な取り組み／二宮尊徳他ゆかりの偉人の業績を地域の文化イメージに活かしたい

(2) まとめ

項目		内容
地域の主な課題（問題）		<ul style="list-style-type: none"> ○農地や山林の荒廃 ○歩行者や自転車の交通安全問題 ○地域活性化を支える骨格道路の不足 ○地域間の交通ネットワーク不足 ○人口減少、少子高齢化による、農業やコミュニティの維持の問題
地域の目標	キャッチフレーズの鍵となる言葉	『自然をいかす・共存する』『里山』『金目川』 『学術・研究機関』『地域住民の交流』『次世代』 『ゆるぎ』『将来に向けた地域の活性化』 『安全・安心』『豊かなウェスタンヒルズ』
	キャッチフレーズ目標	自然と多様な地域資源をいかした安全・安心で豊かなウェスタンヒルズ <ul style="list-style-type: none"> ○多様な市民交流による、自然環境や農業の場としての里山の維持 ○行政界にこだわらない地域生活圏の形成 ○学術・研究機関、企業などとの連携・交流による地域の活性化 ○地域や地域資源を愛する人が集うまち ○核づくりを中心とした計画的な開発による地域の活性化 ○今住んでいる人が住み続け、次世代が住み続けたいと思う地域づくり
地域の方針	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ○生活道路の整備、歩道の設置・改良や交通安全施設の設置・改善（幹道15号と県道77号の整備・改善、公共施設・企業・団地をつなぐ道路の整備など） ○まちづくりを支える東西幹線や橋梁、小田原厚木道路のインター増設などの早急な整備 ○バス停の整備や増便（コミュニティバスの検討）など利用環境の充実など、生活交通の確保
	住まい環境	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活性化のために、住宅開発による人口増加の誘導 ○地域活動の拠点、若い人が集う公民館などの地域ふれあいの場の整備・改善（自然と交流しあえる「核」づくりと、みずほ地区の公民館・めぐみが丘の自治会館の整備改善） ○日常必要な諸機能集積地区の設定と機能誘導 ○秦野市との連携による公共施設の相互利用
	景観、公園・みどり	<ul style="list-style-type: none"> ○貴重な里山の自然やみどりの保全のための保全地区の指定や、管理組織づくり（資金確保、管理・保全のための多世代交流組織やNPO、ボランティア団体の設立と参加者の増加、地域全体での取り組みなど） ○ゆるぎ地区のみどりの保全、交流の場づくり（農業的施設づくり、中吉沢湖の活用、林の整備と間伐材の利用など） ○里山の遊歩道整備 ○河川（座禅川、不動川など）の護岸整備と活用（遊歩道・通学路など）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○エコミュージアムの拡充 ○自然保全のため、広く市内外からの利用のある交流やレクリエーション施設の立地誘導（自然ふれあい公園やテーマパークなど） ○農産物の販売や流通促進 ○大学や研究所と地域住民の交流の仕組みづくり（環境や里山保全での大学との連携、大学の存続のための地域との交流推進など） ○防犯対策などのために、環境整備やコミュニティ活動の充実

(3) まちづくりの進め方

項目	内容
地域における主な取り組み ～地域別懇談会で話し合ったこと～	(全体意見交換) ●「人」と「支援」が鍵になる ●仕組みや組織づくりが必要 ●ボランティア活動など、すぐにできることがある ●地域全体のイベント、回遊してもらい交流できるイベント (ウェスタンヒルズ・フェスティバルなど) ●「ゆるぎ地区」を活性化拠点に
	(1班) ゆるぎ地区への取り組み ・地域全体の活性化の先導地区として位置づける ・住民は活性化に向けて地元の組織化をする(自分達の街は自分達の手で) ・行政は、地元組織へ専門家やスタッフの派遣など ・専門部会の開催(農業の活性化/緑地の維持、管理/道路の問題/地域の基盤整備/地域活性化) ・まちづくり条例の活用も検討。行政内も縦割りを改善して欲しい 住民の組織化について ・リーダーの存在が重要 ・里山保全のプロジェクトチーム(若い世代の関心が高まっている)
	(2班) 地域全体のイベントや交流組織づくり ・交流を活性化させる地域全体のイベント(ウェスタンヒルズ・フェスティバルなど)や活動を支援する交流組織をめざし、行政にも働きかける ・地元は「イベントをはじめ各種の取り組み」を行い、行政には「機会づくり、専門家派遣、補助」などの支援を働きかける ・吉沢特有の青年親和会やみこし、公民館まつり、障害者フェアなどを活用 ・地区同士、子どもの親同士など、世代を超えた多様な交流を充実する ・出歩いてもらうのが重要。地域の歴史・文化をはじめとする資産を活かす周遊ルートづくりが良い ・今後もこの懇談会を発展させ、議論の場としていくのが良い 地区のPRについての工夫 ・北金目地区では、みずほ地区での公民館設置と大学との交流促進 ・南金目地区では、農家と新住民との交流による里山や農業の維持 ・土沢地区では、東西方向の道路の改良・早期整備
	(3班) 地域のことを話せる場やしきみづくり ・ウェスタンヒルズの具体を検討し、バラの丘構想に代わる計画をつくる ・地域のまちづくりについて話しを詰められる組織づくり ・自治会の横のつながりをつくる ・ゆるぎ地区の保全と活用について、地域と企業が話し合う場をつくる (吉沢自治連合会で勉強会をはじめたところ) ・具体的に方向が決まらなると自治会、大学、企業などに声をかけられない ・めぐみが丘など農業と関わったことのない人の自然・農業体験の場がよい ・ウェスタンヒルズの窓口を行政につくってもらう ・今回のような懇談会を続けていきたい 地元ですぐに出来ることを呼びかけるしきみづくり ・散策路の草刈りなどは地元ですぐに出来る ・各種団体に継続して呼びかけられるしきみづくり

(4) 参考図 (分野別の主な意見)

懇談会による西部地域の主な意見

道路と交通

- ① 道路や交通施設の設置や改善、歩道の設置や改良
・吉沢土屋線、金目神戸線、平塚松田線、相模原大磯線
・中沢橋交差点(右折レーン)、吉沢土屋線の変則T字交差点
- ② 湘南丘陵幹線や八幡神社土屋線など東西方向の道路の整備
／吾妻橋など金目川の橋梁の整備・付け替え・混雑解消
- ③ 生活道路の確保(土屋・寺分地域の生活道路)
／通学路の整備(めぐみが丘からの通学路、寺分地区の小学校通学路)
- ④ バスバイや停車帯などバス環境の改善／バス路線の充実(コミュニティバス含め)

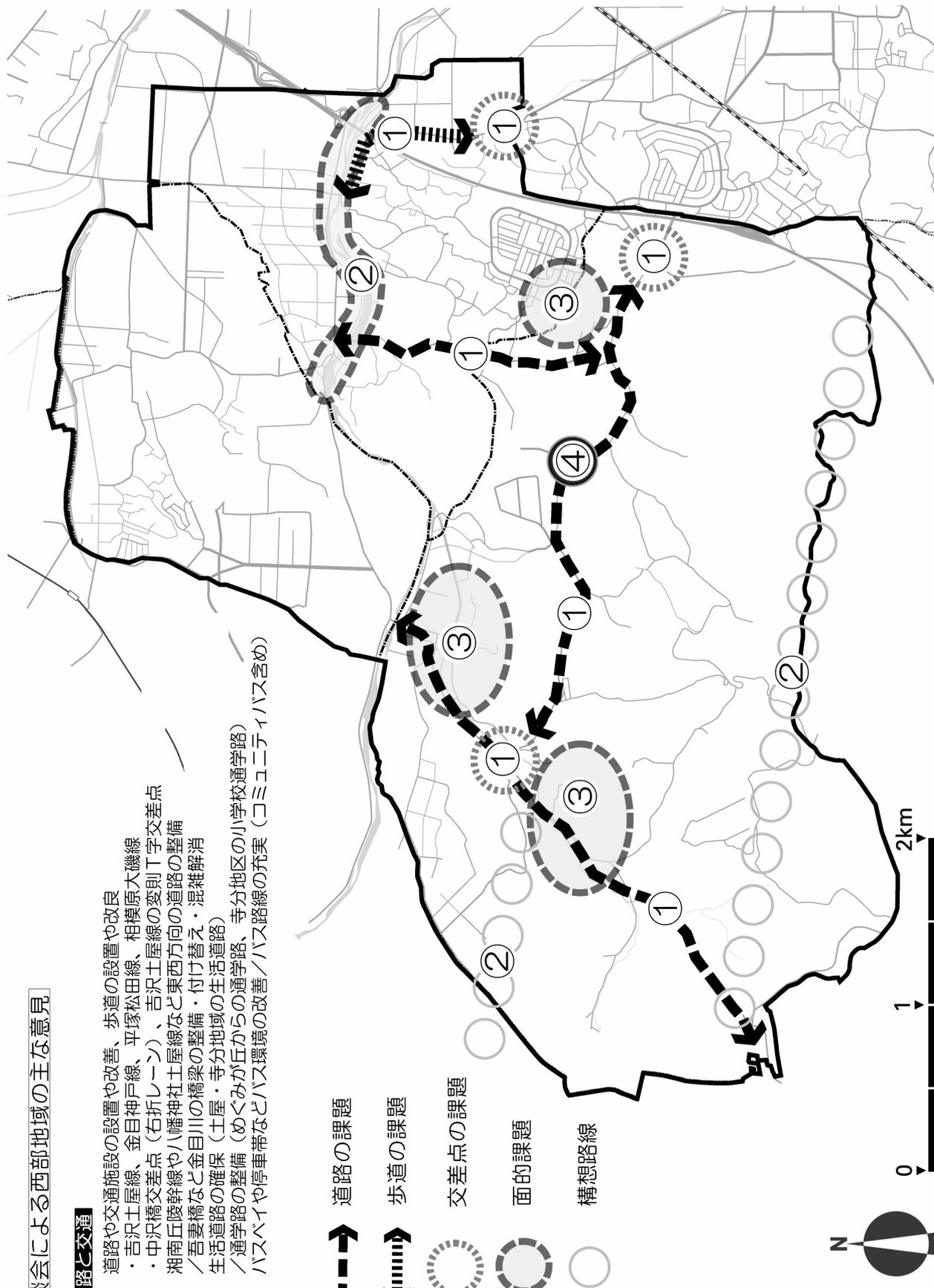
←→ 道路の課題

◄► 歩道の課題

⊙ 交差点の課題

⊖ 面的課題

○ 構想路線



懇談会による西部地域の主な意見

住まい環境

- ⑤ 地域活動の拠点となる吉沢・みずほ公民館などの施設の設置や早期建て替え／五領ヶ台高校跡地をどうするか
- ⑥ 地域の活性化・若者の定着／住宅開発による人口増加の誘導（治道など）
- ⑦ ゆるぎの開発の促進を（西部地域の玄関口として）

景観、公園・みどり

- ⑧ 緑の魅力的空間がない／緑の管理が不足
- ⑨ 里山の整備／自然を残しながら散歩路やトイレの整備／管理方法の検討を
- ⑩ かんまん川や不動川の清流化（ホタルの住むところ）

その他

- ⑪ 農家の後継者不足と農地の荒廃化の問題／存続の工夫を（道の駅など農産物の直売所／大学の研究を反映した大規模な農業体験場／法人化の仕組み）
- ⑫ 人が集まるコア施設の整備を（滞在型キャンプ場／自然観察館）
- ⑬ 自然を次世代に引き継ぎたい／自然を残すには人の手を加える必要がある／ゆるぎの竹林の再生
- ⑭ 街灯の不足（めぐみが丘／大田自治会地区／市道15号沿い）／ゴミの不法投棄（めぐみが丘周辺や市道15号沿い）
- ⑮ 護岸の整備と活用（座禅川、不動川など）
- ⑯ 配水池をパークゴルフ場に活用
- ⑰ 学生やめぐみが丘など新しい人々との連携や大学や研究所との交流／文化的な取組み（二宮尊徳をいやすなど）

※⑥、⑪、⑫、⑰の意見は地域もしくは市全体に関する意見の為、地図上には非掲載

